

## もう冬の準備 その2

冬の準備は、まさに受験の準備です。センターの過去問の総ざらい点検を30日間とするなら、逆算すれば、12月の16日からがその最終点検の始まりとなります。

すると、今週末、来週の頭ぐらいから約30日がありますので、ここでは、センター後の記述の追い込みが必要な時期となります。国立の2次対策のために、各教科の2次試験問題を駿台の青本で点検したり、小論文などへのめどを立てておく必要があります。また、私立の試験対策として、各学部の傾向と対策を教文社の赤本で確認しておくことが大切です。

特に、国語の古典の出典であれば、経済学部は、今昔などの説話物が主流であり、文学部であれば、源氏やそれに類する物語集が出典になることが多いのです。赤本には、年次系列として出典が全部見ることができますので、問題を確認しながら出典の傾向と対策をきちんと確立してください。

また、教育学部や文学部系列では漢文がある大学が多いですので、漢文が得意な人はその狙いを確認し、確実に合格が取れるところとして狙いをもって受験する大学を絞り込むことが重要です。

このことは、英語や社会の傾向にも言えることです。また、文系を数学で受験することができる学部（特に経済系）は、3教科受験と4教科受験があり、4科目受験は合格最低点が低い傾向がありますから、国立志望の諸君においては、数学を受験教科としている利点を生かしてほしいと思います。

それから、インフルエンザの予防注射と、大学を受ける宿の確保と、日程の確認と、そろそろ本格的にスケジュールを作り、家庭の保護者と共有することで一体感が生まれますので、ぜひ、早め早めの対策をお願いしたいところです。

精神的な準備も大切です。模擬テストの結果に一喜一憂しないで、本番までの生活のルーティンを確立してください。食べるもの、眠る時間、着るもの、交通手段、などなど様々な準備を構築しましょう。3月31日までが受験です。思ったとおりにいかないときのリスク管理も大切です。

一番は、本番で自分の百パーセント以上の力を発揮できるかどうか勝負なのです。センター試験日のその2日に力を発揮するために集中することですが、それで終わりでもないのです。全体の見通しをもっていきましょう。

準備が完璧なら、心豊かにその日を迎えましょう。「来るなら来てみなさい。私はできるのです。」という心をもって進んでいきましょう。